## 両利きになれるかな?

B組 小関 あや B組 望月 秀人 C組 田中 麻尋 C組 早川 美羽 C組 横田 虹太郎

#### 1.背景

授業の実験内容とその説明を聞いて興味を持った。自分も両利きになれたらいいなと思った。

しかし、まず何をもって「利き手」なのだろうか。例えば、字が汚い人に「ちゃんと利き 手で書いてくださいよー」なんて言ったときには、相手は非常に嫌な思いをし、卒業するま で話をしてくれないだろう。つまり、字がきれい・汚いで利き手とは判断できない。

次の例はどうだろうか。野球ボールの右手での投げ方が明らかに癖の強い人がいたとする。その人に「反対の手で投げてみてください」と依頼したところ、左手でとてもきれいなフォームだった。そのとき、利き手はどちらになるのだろうか。

利き手の定義を調べてみた。「手を使って動作をする場合、その器用さや運動能力が優れているほうの手を利き手といい、普通2~3歳で確立する。」(引用:コトバンク)

先ほどの野球ボールを投げるときのことを考えると、本人は右手で投げるのがしっくりくるがフォームが癖強め、左手で投げると違和感を覚えるがフォームはきれいとなった場合、「器用さ」と「運動能力」の観点より、彼は左利きとなる。自己申告された利き手とは異なることもあるかもしれない。

### 2.目的

両利きになる。

## 3.実験器具

ペン 紙 消しゴム ipad iphone ハサミ

### 4.実験期間

9月4日~9月30日

## 5.実験方法

①~⑥について、I人Iつずつ取り組んだ。日常的に活動の一つであるものを選択し、それらを利き手ではない方の手で実施する。

※小関以外の4人は右利き

- ①スマートフォンのフリック入力(望月) 普段から左手で使う。
- ②イラスト作成(早川) |日|キャラクターを描く、時間の計測はなし
- ③文字を書く (田中)

「日本体育大学荏原高校」を1日10回書く、時間の計測あり

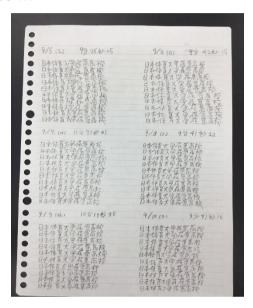
- ④ハサミでイラストを切る、食事をする(小関)
- 普段の食事の時利き手と逆の手を使って食べる。
- ⑤ボールを投げる(横田)

## 6.実験結果

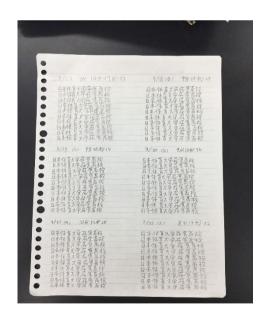
①スマートフォンのフリック入力(望月) 普段から左手でフリック入力をしていれば左右での違いは、そこまでない

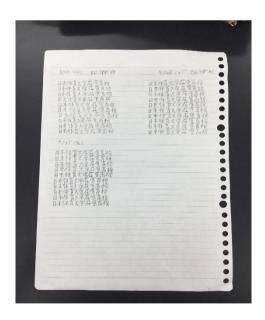
②1日目は形にならなかったけど描くたびに上手くなっていった。

# ③写真参照









④ハサミはうまく使えるようになった。ごはんは途中でイライラしてしまって、利き手を利用してしまった。

## ⑤ボール投げ(横田)

9月4日 右22m20cm 左12m30cm 9月11日 左11m50cm 9月18日 左13m10cm ※継続して記録を取ることができませんでした。

## 7.考察

## ①スマートフォンのフリック入力(望月)

普段からスマートフォンを操作するとき両手で打つことが多かったので左手で打つ事にあまり違和感はなかったことから、完璧に両利きになるのは時間がかかるが、ある決まった動きなら普段から意識して左手(利き手じゃない方)を使っていれば徐々にだが左手も使えるようになっていくと思った。

# ②絵描き(早川)

もともと右で絵を描くのも苦手だった。初めは丸の形が歪んだり、大きさがでかくなったりしていたけど、日に日に書くたびに丸も安定してきて大きさも安定してきた。最初に描いた頃に比べて何の絵を描いたのかをわかってきたから絵のレベルを上げて描き、もっと練習をすれば右より上手くなるのではないかと考える。

#### ③文字を書く (田中)

初めは綺麗に書くことができず何の文字を書いているかわからないぐらい汚い字だったけど、 I 週間経った時には列をそろえて書くことができるようになった。さらに I 週間経つと 苦手な真っ直ぐな線を引くことができるようになった。別の文字を書いても読めるくらい綺麗に書くことができるようになった

#### ④ハサミでイラストを描いた人の絵を切る(小関)

難しいと思っていましたが、挑戦してみると時間が少しかかるだけで利き手とあまり変わらない。食事に関しては、利き手からかえると違和感があり、手に集中してしまうためご飯の味が感じなかった。何回やっても慣れる事はなく美味しく感じないため手を持ち替えてしまった。

# ⑤ボール投げ(横田)

自分の利き手は右腕で左腕でボールを投げると力が全然入りませんでした。

普段からボール投げを投げる機会があまりなく練習時間が限られていたが結果的に左腕で投 げる距離が伸ばすことができた。 なかなか科学的な計測ができず申し訳ございませんでした。最後まで読んでいただいてありがとうございました。